



重要文化財「札幌農学校第2農場」の 展示公開休止について（お知らせ）

施設公開休止の概要

毎年4月29日～11月3日の期間で行っていましたが重要文化財「札幌農学校第2農場」敷地内の模範家畜房、穀物庫屋内の一般公開を、耐震改修工事のため休止します。

また、下記の期間中は、敷地を閉鎖しているため、建物外観や前庭もご見学いただけません。

日 程：2013年11月4日～2015年5月末日（予定）

所在地：札幌市北区北18西7丁目（北大札幌キャンパス内、エルムトンネルのほぼ直上）

「札幌農学校第2農場」は、クラーク博士の大農経営構想により、明治10年に建築した模範家畜房（モデルバーン）や穀物庫（コーンバーン）を始めとするわが国最古の洋式農業建築群を揃え、ここから日本畑作・酪農の技術普及が進んだため、国の重要文化財、北海道産業遺産などに指定されています。

緑豊かな敷地に開拓時代を想い起こさせる建物が点在する風景は、教職員、学生だけでなく市民の皆さまにも親しまれてきましたが、長い年月の間、風雪



に耐えた建物は、建材の劣化も見られるようになり、また倒壊の危険もあると判断されたため、耐震改修工事を行うこととなりました。ご迷惑おかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いします。

お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課 博物館担当

TEL: 011-706-2658 FAX: 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp